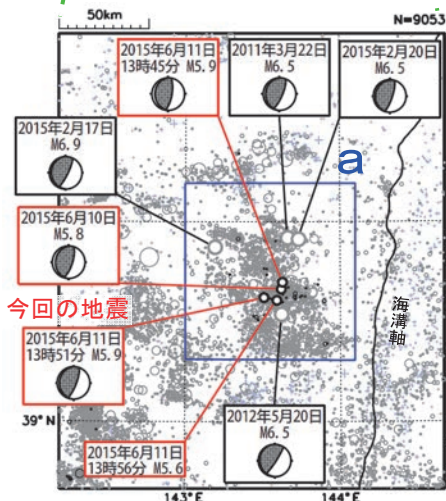
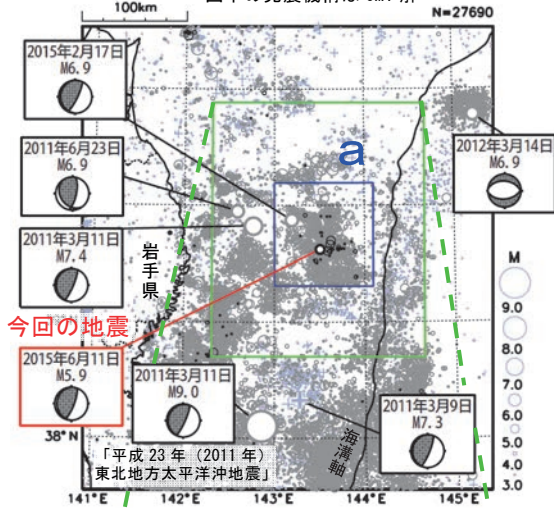


## 6 月 11 日 三陸沖の地震

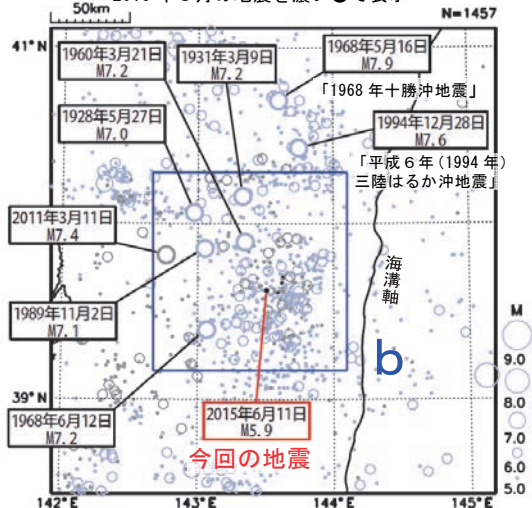
震央分布図  
(1997 年 10 月 1 日～2015 年 6 月 30 日、  
深さ 0～100km、 $M \geq 3.0$ )

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を+  
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を薄い○  
2015 年 6 月の地震を濃い○で表示  
図中の発震機構は CMT 解



震央分布図  
(1923 年 1 月 1 日～2015 年 6 月 30 日、  
深さ 0～100km、 $M \geq 5.0$ )

東北地方太平洋沖地震以前に発生した地震を○、  
東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を薄い○、  
2015 年 6 月の地震を濃い○で表示

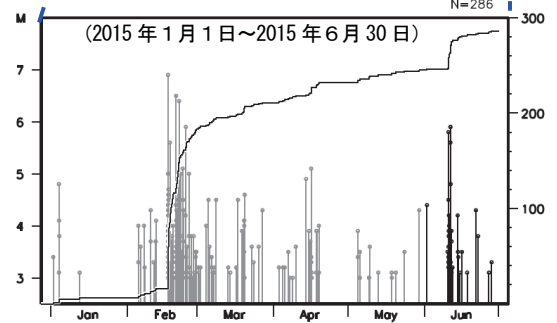
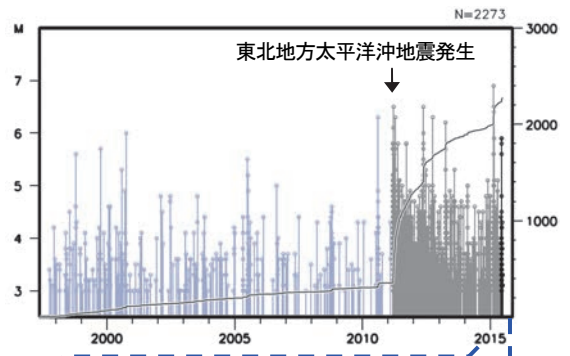


2015 年 6 月 11 日 13 時 51 分に三陸沖で  $M5.9$  の地震（最大震度 3）が発生した。この地震は、発震機構（CMT 解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。今回の地震の震央付近では、10 日 17 時 32 分に  $M5.8$  の地震（最大震度 2）発生以降、震度 1 以上を観測する地震が 6 月 11 日にかけて 6 回発生している。

1997 年 10 月以降の活動を見ると、東北地方太平洋沖地震の発生前から、今回の地震の震央周辺（領域 a）では、 $M5.0$  以上の地震が時々発生していた。東北地方太平洋沖地震の発生以降は、地震活動が活発化し、2015 年 2 月 17 日に  $M6.9$  の地震が発生するなど、 $M6.0$  以上の地震が 10 回発生している。

1923 年以降の活動を見ると、今回の地震の震央周辺（領域 b）では、しばしば  $M7$  クラスの地震を最大とするまとまった地震が発生している。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



領域 b 内の M-T 図

